

上士幌

十勝圏
期成会

年次別に事業案

くことを決めた。役員改選では米沢会長ら全員を再任した。

方について検討し、国や道へ要望活動を続けてきた。
(澤村真理子)

同ホテルでは2007年、中菊、氷まつりは6月6日に提案を締め切り、同10日開催するほか、月3日は開度より1日減に変更。氷まつりを実施、「平

19、林文昭社長)の中庭に群生

している市花のクロユリが見頃を迎えて、宿泊客の目の目を楽し

ませている。

上士幌町内で2015年

度にも整備予定のイオル(Aイヌの伝統的生活空間)について、「伝統的生活空間の再生」十勝圏誘致促進期成会(会長・米沢則寿常広市長)は、施設整備やソ

フト事業などを年次別(15~20年度)に示した「十勝イオル事業計画案」をまとめた。15年度は園路の整備や伝承活動に活用する植物の植栽などを盛り込んだ。道と国の承認が得られれば、8月にも事業の実施が決まる。

29日、帯広市役所で開かれた同期成会の今年度総会で示された。(1)空間活用等事業②自然素材育成(調達)事業③体験交流事業で構成。15年度は、園路やトイレなど施設整備のほか、オ

活動に活用する草木を植栽する苗圃(びょうほ)の造成を行い、見本園的空間としての整備を進め。体験交流事業では薬用植物の観察方法や利用法の実習体験、アイヌの薬膳食材を使った料理教室の開催を予定。初年度の事業費は800万円程度を見込む。

同計画案は2012年度に策定した「十勝圏イオル再生事業展開計画書」(素案)とともに、来月に札幌で開かれる道のイオル再生

事業調整会議で報告され、同会議を経て、財團法人アイヌ文化振興・研究推進機構(札幌)のイオル再生事業検討委員会の審査を受け、国のアイヌ文化振興等

に策定した「十勝圏イオル再生事業展開計画書」(素案)とともに、来月に札幌で開かれる道のイオル再生

大里
三つ
帯ま
ティワイ
ネット退く「平原」は東洋印刷

菊、氷まつりは6月6日に提案を締め切り、同10日開催するほか、月3日は開度より1日減に変更。氷ま

「平原まつり」で阿波踊り大会も推進委が総会も

菊、氷まつりは6月6日に提案を締め切り、同10日開催するほか、月3日は開度より1日減に変更。氷ま

ア波踊り親鑑

き「全道阿波

踊りを実施、「平

原まつり」は開度より1日減に変更。氷ま

ア波踊り親鑑

き「全道阿波